

豊田市の取組状況

1. 産業集積用地の整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区の山林において、民間企業の研究開発施設などの産業集積用地を整備する。

(2) 今年度の取組

事業計画を精査した結果、企業への売却が見込めないと判断し、事業を中止する。

2. 土地区画整理事業等の手法による市街地整備に向けた検討

(1) 事業概要

八草地区は、第7次豊田市総合計画（H20.3）、豊田市都市計画マスタープラン（H20.3）において「拠点地域核」に位置づけられている。

公共交通機関（リニモと愛知環状鉄道）が結節する豊田市の北の玄関口として、駅周辺の活性化、居住者にとっての生活環境向上、自然環境と調和した「拠点地域核」にふさわしい良好な市街地形成に向け、地元まちづくり組織との共働による検討を進めている。

(2) 今年度の取組

住民を対象にした意見交換会を開催し、生の意見を確認する。集約した意見を反映した構想図を作成する。

(3) 平成27年度の取組予定

計画を具体的に推進するため、区画整理及び地区計画を検討する組織設立を目指す。

3. パークアンドライド駐車場の利用促進

(1) 事業概要

豊田市では平成18年度に公共交通基本計画を策定し、利便性の高い公共交通ネットワークの構築を行っている。八草駅はリニモと愛知環状鉄道が結節する豊田市の北の玄関口であり、名古屋方面及び豊田市街へのアクセスに適していることから、平成23年度に拡張工事（駐車台数：55台から170台）を実施したパークアンドライド駐車場を活用し、公共交通の利用促進を図る。

(2) 今年度の取組

指定管理者制度（平成24年4月1日～）による有料化での運用を継続する。

(3) 平成27年度の取組予定

指定管理者制度による有料化での運用を継続、利用促進に努める。

※ 参考 八草地区開発構想

